学校番号	３０２

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」（教育図書）						
副教材等							

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ，書道Ⅱで学んだことを発展させて，主体性と向上心をもってより創造的な活動を目指しましょう。
・よりレベルの高い古典臨書を通して感性を磨き，個性豊かな書の能力を高めます。
・相互鑑賞を通して書道の多様性と個の表現の面白さを味わい，自身の制作に生かしましょう。

２．学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに，感性を磨き個性豊かな書の能力を高める。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の思考・判断・工夫	c:創造的な書表現の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。	創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ノート ワークシート	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	漢字の書の美と文化①	○甲骨文(篆) ○郭店楚簡(隷) 【鑑賞】【臨書】 ・簡牘の世界 ○礼器碑(隷) 【鑑賞】【臨書】	○	○		○	a:甲骨文・金文・簡牘・帛書それぞれの古典の字形や用筆の特徴に関心を持ち，主体的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 b:様々な篆書や隷書の古典の字形や用筆などの特徴をとらえ，書風を生かした表現を工夫している。 c:篆書や隷書の表現技法を身に付け,自己の表現活動に発展させている d:様々な篆隷書の古典の個性的な美しさや様式美，表現技法を理解している。	観察 提出作品
6 7		○魏霊蔵造像記(楷) ・龍門石窟 ○李嶠詩雑永(行) ○李太白憶旧遊詩巻(草)【鑑賞】【臨書】 ○薦季直表 ○楽毅論 【鑑賞】					a:様々な書体の古典の個性的な美しさや様式美に関心を持ち，主体的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 b: 様々な古典の字形や用筆などの特徴をとらえ，書風を生かした表現を工夫している。 c:各書体の表現技法を身に付け,自己の表現活動に発展させている。 d:様々な古典の個性的な美しさや様式美とその表現技法を理解している。	観察 提出作品
8 9	仮名の書の美と文化	・和歌と古筆切 ○高野切第一種，二種，三種の比較 【鑑賞】【臨書】 ○本阿弥切古今和歌集 【鑑賞】【臨書】	○	○	○	○	a:古今和歌集の成立と仮名の書の関係について関心を持っている。本阿弥切の書美に関心を持ち，意欲的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 b: 本阿弥切の用筆や線質などの特徴を理解し，書風を生かした表現を工夫している。	観察 提出作品

10		・料紙装飾と書の調和					c:本阿弥切の表現技法を身に付け，自己の表現活動に発展させている。 d:古今和歌集の成立と仮名の書の関係を理解している。本阿弥切の造形美，構成美，流動美，律動美と作者の人間性に基づく個性的な美しさを，総合的に理解している。	
11 12	漢字仮名交じりの書の美と文化	・漢字の各書体に調和する仮名の工夫 ・粗密が描く紙面の均衡【鑑賞】 ・自分自身の表現を求めて【創作】 ・カレンダー【創作】	○	○	○	○	a:漢字と仮名の線質や用筆の調和に関心を持ち，古典の臨書や鑑賞で得た知識や表現技法を主体的に自己の表現へつなげようとしている。 b:漢字の各書体に調和する仮名の表現を考え，個性的な表現を工夫している。自己の感興や意図を実現するため，主体的に表現の構想を具体化しようとしている。 c:ことばを効果的に表現する用具・用材の用い方を考え，書体や書風，線質や全体の構成を工夫することができる。 d:漢字仮名交じりの書の名筆を味わい，漢字の各書体に調和する仮名の表現技法を理解している。漢字と仮名の調和について深く追求している。	観察 ワークシート 提出作品
1	漢字の書の美と文化②	○喪乱帖(行草)【鑑賞】【臨書】 ・色紙作品制作【創作】【相互鑑賞】	○	○	○	○	a:草書や行書の様々な古典の字形や用筆の特徴に関心を持ち，主体的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 表現活動を通して，意図的，主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。 b:主体的に構想を具体化し，書風や線質，全体の構成などを工夫している。 c:作品の意図を明確にするための創造的な表現を身に付け表している。 d:晋時代の草書や行書の古典の書美とその表現技法を理解している。 互いの作品を鑑賞し，そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ノート ワークシート 提出作品 鑑賞カード